



第5回 医療・食品産業交流サロン

日時 令和元年 9月 5日 (木) 18:30~20:30

参加費 無料

会場 ゆうあいセンター大会議室 (岡山市北区南方2丁目13-1「きらめきプラザ」2階)

定員 40名 (県内で食品製造に携わっている法人・個人事業主、医療・介護関係者)

今回のテーマ「超高齢社会において食品に求められる役割とは？」

▼講演

「高齢者に必要な栄養について (仮題)」 ※講師調整中

高齢者が健康を維持していくために積極的に摂るべき栄養素や、献立を考える上での留意点を教えていただきます。

▼意見交換会

「現場の人に聞いてみよう！こんな商品&サービス、どうですか？」

コーディネーター 岡山済生会総合病院 内科医長 犬飼道雄先生

参加者の皆さんに商品やサービスのアイデアを発表していただき、医療・介護の現場で食支援に携わっておられる専門職(管理栄養士さんなど)や、小売店の方などに、商品化に向けたアドバイスをしていただきます。

**発表者
募集**

- 高齢者をターゲットにした商品を考案中なので、アイデアを評価してほしい。
 - 自社の既存商品を、高齢者向けにリニューアルしたいので、ヒントがほしい。
- など、商品化に向けたアドバイスがほしい方を募集します。
(発表時間は10分程度。試食品の持込を希望する方は事前にご相談ください。
当日の飛入りも可ですが、時間が足りないときは事前申込者を優先します。)



▼情報提供

「岡山県からのお知らせ~食支援プロジェクトの今後について」

♥「医療・食品産業交流サロン」とは？

4人に1人が65歳以上という超高齢社会を迎え、高齢者に配慮した食品に対するニーズが高まりつつあることから、岡山県では、高齢者向け食品の開発に関心のある企業の皆様と、医療・介護分野等の専門家をつなぐ「場」として、このサロンを立ち上げました。県内で食品の製造や販売に関わっている方であれば、どなたでもご参加いただけます。また、医療・介護関係者のご参加も大歓迎です。



参加を希望する方は、岡山県医療推進課ホームページの専用フォームからお申し込みください。
ホームページアドレス <http://www.pref.okayama.jp/page/565366.html>